

2011

夏

Free Book

弥彦浪漫

ROMANTIC-YAHIKO
新潟県西蒲原郡弥彦村

佐渡弥彦米山国定公園



国定公園 認定地 [1950年]

「村」であり続けること

これこそが 弥彦浪漫 の原点

日本三大燈籠まつり

この土地の熱気が一つになる三日間

弥彦宿帳

ROMANTIC-YAHIKO

村びと

疾走するピスト 彼女たちは弥彦の浪漫

弥彦浪漫オリジナルブランド
「夏」おすすめ商品

ふらっと訪ねて自分へのご褒美
温泉宿の小粋なランチ

綴込 夏の散策街図

identity 「村」であり続けるアイティ。



新潟県弥彦村。
二〇一一年現在、人口が増えている稀有な村。
弥彦山の自然に抱かれ、その向こうには日本海が広がる、小さな村だ。
昔からの知り合いのように、ごく自然に笑顔をむけてくれる。
もしかしたら？
ここで三〇年以上も続く老舗の旅館があるように、
もてなしの気持ちは、相手が誰であつても同じように。
「こんにちは！」
全ての人に向けられる、この想いが
その言葉を聞いた人の心に染みわたる、のかもしれない。
それはこの土地の人々の心に在る、美しさ浪漫。
大衆迎合しない
見てくれや目先のことに動かされない
そんな信念もこの村の魅力。
平成の大合併でも村であり続け、
これからも村であり続ける…
それが、この村の浪漫なのだ。

弥彦山ロープウェイ

夕日・夜景&星空クルーズ
開催日 8月7日～8月15日

ロープウェイ運行時間
のぼり 山麓駅最終20:30発 15分間隔で運行
くだり 山頂駅最終21:00発

星空クルーズ特別割引運賃 18:00以降発売
おとな(中学生以上) 1,100円
子ども(3歳以上) 550円
彌彦神社・車お祓いどころ～山麓駅
無料シャトルバス運行
荒天の場合18:00以降の運行を中止いたします
お問い合わせ ☎(0256) 94-4141

彌彦 麻帳

この村のひとコマ、
弥彦浪漫のひとつでもある
宿のものがたりをこ披露しよう。
その時々、いろいろな、
ROMANTIC-YAHIKOが
この笑顔とともに...





名代家

なだいや

神社通りに佇む、約300年続く老舗の料理旅館。日本海の新鮮な魚介類と、山の幸を丁寧に調理した品々に定評がある。旅の楽しみは「食」にあり。それを実感させてくれる宿だ。

- (0256) 94 - 2013
- 新潟県西蒲原郡弥生村弥生2934
- 取寄街80 弥生温泉地区 E-4
- <http://www.nadaiya.com/>
- 1泊2食 10,650円～
- 添子料金は大人の50% (お食事はお子様ランチになります)



とにかく、僕がゆっくりと美味しいものを
食べられればそれで満足、と思っていた。

今年、ようやく下の娘が小学生になった。僕としては「ああ、これで少し落ち着いた旅ができる」と思ったものだ（そんなことを妻に言ったら怒られるかもしれないが）。何せこれまでの数年は、泊まったホテルでもテーブルの上のお皿を触るわ、子供用フォークを落とすわの騒ぎだったのだから。

旅先の食事というものをゆっくりと堪能できないなんて、僕としては旅の楽しみが半減するようなもの。だからこれまでは、行き先がかなり制限されていた。でも今年はずう。料理旅館として約三百年続いているという宿にチェックイン。ああ、夕食の時間が待ち遠しい。

「わ、こんなに！」と踵を叩かせたのは、最近食欲著しい年生の長男。「綺麗、この枝豆のスープ」とさすが女性目線の妻。「お刺身が新鮮♪」と小さいながらも侮れない娘。そして僕は、この夏の「パワープラン」で味わえると聞いていた、新鮮なお造りで新潟の酒を愉しみ、腹を満たしてくれる越後牛でのんびりとした食事時間を過ごした。

自分が満たされてふと子供たちを見ると、珍しいことに綺麗に残さず食べている。「偉いじゃないか」と話しかけると「だって美味しいもん。ママ、帰ったら家でもこういうの作って」と無理難題を押し付ける娘。妻は小さく首をかしげている。そんな顔を見ていたら、なんだか気分が良くなってきた。あれ？そういえば俺、日本酒飲んでたかな？

どうやら満足したのは全員の様子。翌朝は皆で神社へ参拝に出かけようか。宿をチェックアウトして、そのまま徒歩3分程のパワースポット、彌彦神社へと向かう。「パワーばかりじゃん」と笑いながら長男。いいじゃないか、これぞ弥彦の旅なのだから。

弥彦の奥湯 観音寺 上州苑

やまのわくわく さんさんど
じょうしゅうえん

自家栽培の夏野菜たちは、朝食でも愉しめる。シンプルは焼き茄子、完熟のトマト、茄子のお味噌汁などが本当に美味しいのは、素材の味がしっかりしているから。そういう質は上州苑ならでは。1泊朝食付料金をベースに食事の有無をフレキシブルな対応も可能。客室数限定でペット連れもOK。お問い合わせを。

- (0256) 94 - 2114
- 新潟県西蒲原郡弥彦村観音寺494
- 敷居街 弥彦村広域 D-4
- <http://www.joshuen.com/>
- 1泊2食 12,000円～
- 1泊朝食 7,000円～



「トマトってこんなに甘いんだね、ママ」
そんな娘の言葉に、感動した3世代旅。

彌彦神社から少し離れた場所にある宿だ、と聞いていて。向かってみるとそこは、隣の県に住む、うちのおばあちゃんを思い出させるような。緑に囲まれた静かな旅館。

4歳の娘が、宿のアプローチを嬉しそうに走って駆け上がっていく。左手には自家菜園だろうか、畑が広がる。奥には山々が望め、右手にある玄関へと私は娘の里奈を追いかけ足を早めた。

里奈と一緒に中へ入ると、宿の主人らしき人が柔らかに迎えてくれた。不思議な居心地のよさに、心がふっとゆるんでいくようだ。義理の両親と隣の部屋にもらったので、里奈は早速そちらへ遊びに行っている。「ねえ、このあと夕食よね。里奈、食べられるかなあ」少し偏食気味の娘が心配で、ついそんなことを口にしてしまう。「大丈夫だろう。いつもと違う雰囲気を楽しそうだし」そう言いながら、全員で食事処に向かう。人数が多いので、別室に用意してくれているようだ。

「わあ、美味しそう！」最初にその言葉を発したのは、里奈だった。

日本海の幸はもちろん、目にも鮮やかな夏の野菜がたくさん並んでいた。里奈には子供用の食事もあったけど、私の前に並んでいる色とりどりの野菜に箸をつけ「これ美味しい」といつもは食べないトマトをばくばく食べている。驚きだった。ししとう、茄子など夏野菜の米粉てんぷらも、かりりとして美味。義母も「越後のもち豚って、柔らかくて食べやすいわ」と嬉しそうだ。

皆でここへ来て良かった。両親にも感謝しなくちゃ。自宅へ帰ってからも、トマトを食べてくれるといいな、と思いながら、私は里奈のふくらんだほっぺたを眺めた。





お宿 だいろく

おやど だいろく

京風会席が名高い宿。もともとは割草だというからその味はお墨付き。一般客室の他、広い特別室、グループ利用に嬉しい12個室や、ゆったりの12畳露天風呂付き客室もある。来る人に合わせて選べる空湯だ。2人で訪れたなら、下駄に履き替えて券窓散策するのもおすすめ。

- (0256) 94 - 2026
- 新潟県西蒲原郡弥生村弥生946
- 散策地図 弥生温泉地区 E-4
- <http://www.dairoku.tv/>
- 1泊2食 13,650円～



仕事は好きだけど、もちろん彼も好き。
そんな彼は新潟の銘酒好き…あれ？私は？



昨日送ったメール、後輩はちゃんと読んでくれただろうか。ふとそんなことを思い出し、私は助手席で携帯を取り出す。「今日くらい、仕事忘れたらう？」彼が運転しながら笑う。「そうだよね、ごめん。つい」「昨日遅くまで仕事してただろう？今日はゆっくりしよう」それに私も笑顔で答える。月末には必ず忙しくなる私の職場のことを、彼はよく知っている。だからこそ、今日はここへ連れてきてくれたのだ。

宿に入ると、さっきの仕事の気分は消えてなくなった。宿のふうわりとした空気に、こちらもしんなり溶け込んでゆく。「温泉は貸切りでできます」という案内に、何だかちよつと照れ臭い。いつも仕事ばかりですれ違いの私達、ちゃんとしたデートは3ヶ月ぶりだ。貴重な2人だけの時間。まずは色浴衣を選んで、お風呂へ向かう。まだ陽が落ちていなかったので、楡の露天からは弥彦の街並みが望めた。夜になればもっとロマンティックだろうな、なんて思う。ゆつくりと弥彦の湯を楽しんでから、客室に戻る時にふと気がつく。

あれ？足が冷たくない…。いつも冷感性で入浴後でも足が冷たいことも多い自分。今日は温泉のおかげか足先がほかほかしている、と同時に「あ、畳だからだ」と発見。そう、この宿は廊下やエレベーターの中まで畳敷きになっているのだ。スリッパの冷たい感触ではなく、温かい日本の感触。私は嬉しい気持ちで部屋に戻った。

お部屋のテーブルに、美しく盛りつけた夕食が並べられてゆく。上品でいて華やかなその会席に、私は感激していたのだが、どうやら彼は違う人と盛り上がった。 「利き酒師」でもある若旦那のお勧めしてくれた日本酒が、彼の舌には合ったようである。

あーあ、今夜は酔いつぶれないでね。2人の夜なんだから。

四季の宿 みのや

しきのやど みのや

約300年の歴史ある彦彦老舗宿は神社通りに行む
全73室。和室の他、大正ロマン風の「浪漫館」(写
真左)が女性の支持が高い。彦彦山を眺めながら
湯が温かい温泉は、温泉掛け廻し。全国旅館100選科
理部門では連続入選している実績も。

- (0256) 94 - 3000
- 新潟県西蒲原郡彦彦村大字2937-1
- 散策地図 彦彦温泉地区 E-3
- <http://www.minoya.net/>
- <http://www.sky-wedding.jp/>
- 1泊2食 14,000円～
- 温泉館(2名様利用時) 17,000円～



重くて持ち上がらない、その理由を
僕はずっと、黙っておこうと思う。

手をつないで、言葉ないまま参道を歩く。彌彦神社に行ってみよう、と言ったのは彼女だ。僕はそのリクエストに応じて宿を予約しただけ。彼女が喜ぶだろうと思っただけなのに、本人は無表情のまま。どうやら先ほどの「火の玉石」の手ごたえがイマイチだったらしい。一体何を願ったのかは知らないが。

そのまま旅館にチェックインしたものの、彼女の表情は固いまま。案内された部屋に入って、ようやく「わあ可愛い！」と声を上げた。よかった。今回は「浪漫館」を予約したのだ。嬉しそうに部屋を眺める彼女を見て、僕は安堵した。ふと部屋の中にある鏡台に目を奪われる。ああ、こういう鏡台、そういえば姉が嫁入り道具に買ったなあ。なんて思い出していたら、また彼女が無言になっていく。一体何がそんなに不満なんだ？

「少しさ、部屋から出て旅館の中を歩いてみない？」僕は沈黙に耐え切れずそう誘った。あまり乗り気のない彼女の手を引いて、僕は館内を歩く。「あれっ？」彼女が何か言いかけた。その視線の先に目をやると、

何とそこではウエディングドレス姿の女性が写真を撮っている。彼女が1人つぶやく。「あのドレス可愛い……」僕は新婦には聞こえないよう耳元でささやく。「でもさ、君には和装の方が似合うと思う。ドレスもいけど。うーん、ほらさっきの神社での式なんていいよな」

思い切り彼女が振り返る。あれ？ はずかだったか？「えっでも、ドレスも似合うだろうから、披露宴はそれがいいんじゃないのか、な？」顔色を何うと、彼女は明るい表情になっている。「すごく嬉しい。だって、さっき康弘とずっと一緒にいたいって願ったのに、石が持ち上がらなくて、悲しかったの」ん？まさかそれは彌彦神社の石のこと？そういえば彼女は火の玉石の、台を持っていたような気がするのだが……。黙ったまま、僕は彼女の肩を抱き寄せた。



ふらっと訪ねて自分への褒美 お宿で楽しむ小粋なランチ



旅に出たら、その土地の美味しいものを食べたい、それは当然のこと。弥彦といえば、日本海と弥彦山に囲まれた、自然豊かな温泉地だ。そうであれば、もちろん山の幸も海の幸も美味、というわけ。

一泊して旅館の食事を楽しむのはひとつの方法。だが、そうではなくふらりと出かけた時にも、また泊まった翌日のランチでもちよっと贅沢気分、宿の食事を楽しむのは、旅の上級者なり。

弥彦では、王道の日本海の幸を味わえる松茸堂弁当やお膳もあるが、実は宿が経営するラーメン屋さん、フレンチレストランもある。その多岐に渡った「新潟の旨いもの」を味わって、その後に温泉にも浸ければ、もうそれだけで大人の休日完成だ。宿のお部屋で休憩もできる、日帰りプランとして要予約の宿や、ふらりと食事だけ立ち寄れるところも、自分の好きなスタイルで弥彦の味を楽しんではいかが。

ランチも楽しめる弥彦のお宿
お問い合わせ先

| | |
|-----------|--------------|
| 清水屋 | 0256-94-2015 |
| 四季の宿みのや | 0256-94-2010 |
| ホテルヴァイス | 0256-94-5612 |
| 冥加屋 | 0256-94-2034 |
| 名代家 | 0256-94-2013 |
| みますや旅館 | 0256-94-2109 |
| お宿いろいろ | 0256-94-2026 |
| 彌彦グランドホテル | 0256-94-2311 |
| 割烹の宿 櫻家 | 0256-94-2009 |
| 山本館 | 0256-94-2061 |
| 緑栄館 | 0256-94-2279 |
| 上州苑 | 0256-94-2114 |



写真協力：名代家

2011夏

このマップは本誌より取り外して使用できるようセンター綴りになっています



ホテルまっぷ付
弥彦村広域地図

弥彦浪漫

ROMANTIC-YAHIKO

新潟県弥彦村 夏の散策街図



「スマートフォンをもって弥彦を歩こう！」



弥彦観光協会では、スマートフォンで利用できる「ふらっと案内」アプリを活用し、GPS位置情報と連動した観光情報配信の充実化をすすめています。
※「ふらっと案内」のダウンロード及び利用は無料です。
※ iPhone/iPadの方は App Store から、Android端末の方は Android Market から「ふらっと案内」をダウンロードしてご利用ください。

使えます、

Suica



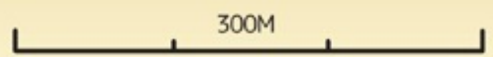
弥彦線の全駅で利用できます



弥彦村・弥彦観光協会 ☎(0256) 94-3154 ☎9:00~17:00
〒959-0323 新潟県西蒲原郡弥彦村弥彦駅前 <http://www.e-yahiko.com/>

弥彦温泉地区 ROMANTIC-YAHIKO

■近彦弥彦山国定公園
 国定公園は、日本において国立公園に準じる景勝地として自然公園法に基づいて環境大臣が指定した公園です。
 近彦弥彦山国定公園は、群峰山国定公園、群馬日田美山国定公園とともに、1950年7月、国内で最初に制定された国定公園としてスタート、1981年に米山地域を加え、名称を現在の近彦弥彦山国定公園と改称しました。



凡例

| | | | |
|--|--|--|--|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

※このマップはGPSデータに基づいて作成されています。



婆々杉

宝光院(良寛の歌碑)

スカイライン

城山通り

城山森林公園

弥彦公園

弥彦駅

スカイライン入口・寺泊方面

大鳥居・三条燕川方面
(大鳥居まで弥彦駅より車で5分)

至 吉田

夏の弥彦イベントのご案内

ホテル観賞ミニバスツアー 弥彦温泉観光旅館組合 (ご宿泊のお客様対象)

お宿の送迎バスで当日の天候を考慮してホテルが多く残っている場所へ向かいます
1人1台は約10分程度
参加費 おひとり様 100円

期 間 6月18日～7月6日 (雨天中止)
参加方法 18時までにフロントへお申し込みください
運行時間 19:45西手の宿みのや前～19:48おだいろく～
19:50弥彦ランドホテル～19:52弥彦駅前～
19:55線楽館～20:00上州苑～現地



やひこホテルまつり

開催日 6月25日 18:30～
会場 弥彦駅前 弥彦公園
内容 芸妓手踊り・弥彦山太鼓
屋台出店・ホテル観賞など
※ 詳細は別途配布のチラシをご覧ください

弥彦ナイトウォーク

開催日 6月25日・26日
会場 弥彦公園桜並木 20:15スタート
～ 21:00頃 彌彦神社ゴール
内容 弥彦の夜の街並みを、提灯片手に散策する
情緒あふれる催し。提灯はペットボトルを
再利用。長岡造形大学生と村びとの手作り。

彌彦神社茅の輪まつり

開催日 6月25日～30日
会場 彌彦神社



やひこ茶豆収穫体験

開催日 7月31日
8月6日・7日
参加費 おとな300円 こども200円 3才以下無料
※ 収穫した豆は1グラム1円で精算します
行程 14:00 弥彦駅前発～各お宿を廻ります
14:20 えだまめ園到着
もぎ取りはじめ
15:00 収穫場
もぎ立てを試食・収穫分を精算
15:40 お迎え～各お宿へ
その他 JA青壮年弥彦支部の皆さんがお手伝い
動きやすく、汚れてもよいお支度で
ご参加ください
お申込み 各お宿または弥彦観光協会へ



弥彦村・弥彦観光協会 ☎(0256) 94-3154 © 9:00～17:00
〒959-0322 新潟県西蒲原郡弥彦村弥彦駅前 <http://www.e-yahiko.com/>

夏の弥彦の思い出に 村びとおすすめの逸品



この可愛いグッズは、弥彦温泉オリジナルブランド。四季を通じて4種類の柄が楽しめるのでお土産にも自分用にもおすすめです。このほかトートバックや足袋ソックス、自衛もあります。弥彦村の新聞やお土産屋さんで購入できますよ♪



使い勝手の良い「注ぎ染め日本手ぬぐい」は、夏だからこそ出番の多い品。
¥840



70cm×70cmの「風呂敷」は、とてもお洒落な枝豆デフォルメ柄。これぞ日本人のグッズ。
¥1800



「一筆箋」枝豆を思わせる黄緑色の表紙に、中は落ち着いたクリームグリーン紙。
¥480



柔らかい手触りは気持ち良い綿100%の「はんかち」。渋緑色の大人の一枚です。
¥580

☆「弥彦もすめ」は毎年5月上旬に、店頭にも並ぶ、越前出しのブランド柄紙。





弥彦燈籠まつり 7月25日(月)

前夜祭 24日(日)
還御祭 26日(火)

幼き日の憧れと
そして、
弥彦への想いを載せて

子ども達が、年に一度の習い事の発表会を楽しみにするように。そしてその日のために、毎日コツコツと練習を重ね、たった1日のために三六四日を過ごすかのように。

僕たちにとって、それが「燈籠まつり」だと言っても過言ではない。

弥彦の「燈籠押し」は、この土地で生まれ育った子ども達が社会人になってから参加する。村内に5つの講中があるが、皆が弥彦を愛する気持ちは同じだ。

小学生の頃から一緒に子供燈籠を担いでいたあいつ。学生時代に離れた時期もあったが、またこの土地に帰ってきた。

気がつけば大人になってからの彌彦神社の神事奉仕や村の人々とのふれあいは、僕たちにとって当然の「生きる道」。

大人になってからは、あの憧れともいえる「燈籠押し」で、

僕たちは1年間の弥彦への想いを載せて燈籠を担ぐ。一番手で彌彦神社の鳥居をくぐる、あの誇らしさといったら……!

僕たちの年に一度の表舞台を、ぜひ目にして欲しい。



燈籠まつり

夏の祭りと言えば花火大会が定番だが、花火以上の熱いものが繰り広げられる夏の燈籠まつりがある。新潟県弥彦村に千年の昔から伝わる夏の燈籠まつり。日本三大燈籠祭りのひとつで、弥彦村の魂が燃え上がる熱き3日間だ。

昼間の子ども達の威勢の良い神輿や、女性の華やかな踊りに目を奪われていた。が、少しずつ暗闇が近づくにつれて、ますます村全体に立ち込める熱気は、徐々に厚みを増してゆく。弥彦山の頂上から下りてきた松明が、薄暗い中で揺らめき始める。厳かな空気。その中で、黒いキャンパスに浮かび上がる美しい花火。新潟は花火大会が多い地域としても有名だが、この祭りではそれはメインではない。夜空に舞い上がる大きな音を掻き消すほどの更なる偉大なものが、通りに現れ始めるのだ。



Scenery

グリーンからブルーへ

新潟の誇るべき
新・原風景に出会う



新潟県有数のパワースポットとして
名高い彌彦神社。観光客のほとんどが
ここを訪れ、手を合わせ頭を垂れる。
大なるパワーに感謝しつつ、今宵の
宿へと向かうことにしようか。

弥彦温泉郷にある旅館。それぞれの
魅力を備えた宿ばかりだ。家庭的なも
てなしが嬉しい小規模な旅館、おしゃ
れなテラスでフレンチが楽しめる宿、
和と洋が融合する居心地よい老舗旅館、
静かなる和を大切に守り続ける旅館…
弥彦山を望む露天風呂で、弥彦湯神社
温泉をたっふりと堪能。

これぞ旅の醍醐味。

五感をフル活用して弥彦を堪能した
ら、忘れてはいけない、翌日の楽しみも。





パワー溢れる彌彦神社の神域は、弥彦山すべてが含まれているのをご存知だろうか。そこまで足を運んで、神聖な空気を体いっぱいを感じたいもの。宿をチェックアウトしてから、車を走らせる。山頂まで登っていくと、緑の木々の合間に時々現れる、青き美しき日本海。海岸線の輪郭までくっきりと見えるその雄大さは、弥彦山だからこそ。

そのまま新潟市内まで続く「シーサイドライン」を走れば、空と海の青の領域。天候に恵まれれば佐渡島も…。日常生活の喧騒がないその光景は、新潟の原風景でもあり、新風景でもある。

これを見ずして新潟を語るべからず。夏はまさに海が主役になる季節。海水浴もちろんいいが、弥彦山の上から海を望み、海岸線を駆け抜けるのも、弥彦ならではの夏の楽しみ方だ。

弥彦燈籠まつり期間の7月26日(火)には、この美しい景色を眺めることができる特別企画、弥彦温泉発弥彦山頂・シーサイドライン経由の新潟駅ゆき直行バスが運行される。

※事前申込制。巻末ページに詳細。

村 びと

村を疾走するピスト
彼女たちは弥彦の浪漫

弥彦村、観音寺の道筋で、猛スピードで駆け抜ける自転車を見かけた。彼女は真っ直ぐなまなざしで、横を通り過ぎる車を気にもせず自分の行くべき道を走っている。心が震えた。そう、ただひたすらに、格好よかった。

本人にお会いすると、「全然気がつきませんでした」とにっこり笑う。彼女達の練習は、計り知れない努力の上に成り立っている。余計なものはない。「弥彦村は、私達にとっては帰ってくる場所です。シーサイドラインや弥彦山、天領の里までも行きますが、最後にはここへ帰ってくる」

弥彦競輪は入口からバンクが目に入る、まさに選手に近い競輪場。目前に迫る山を望む競輪場は珍しい。彼女たちいわく、「このセダーハウスの、おでんとカツ丼は絶品です。選手になったら食べに來られないから、出前したいほど」だとか。

弥彦競輪ならではの楽しみを、あなた自身で体験してほしい。そして、彼女達がこんなにも輝いている理由を、その目で確かめてほしい。この村から、女子競輪選手が生まれることを、村民の誰もが応援している。



藤原亜衣里さん
新潟県弥彦村出身

加瀬加奈子さん
新潟県長岡市出身

中川諒子さん
熊本県出身

田中麻衣美さん
新潟県新潟市出身

2010年2月に田中さんが“GIRLS KEIRIN”に初参戦。その後中川さん、加瀬さん、藤原さんの3人が加わり「プロ競輪選手になる」と練習を重ね、目標であった日本競輪学校には4名全員で合格。彼女たちは5月から女子競輪選手候補1期生として弥彦の村びとからの期待と声援を背に新たなスタートをきった。彼女たち全員が弥彦村出身という訳ではないが弥彦の人たちにとっては、親愛なる「村びと」なのである。



やびこけりん

GI

被災地支援 寛仁親王牌・世界選手権記念
http://www.yahikokeirin.com/ 6月30日(木)〜7月3日(日)



ひとが暮らす。その、いちばん近くで。

好きな服を着ると、誰かに会いたくなる。旬のものを食べると、自然に感謝できる。おなじものでも、ひとの暮らしを、ちょっと幸福なものにできる。店頭にならぶものは、そうあるべきだと、私たちは思っています。ユニー株式会社の前身である西川屋が誕生してから、100年目。お客様の生活に、毎日に、感動を届けられるように。ユニー株式会社の、次の100年にご期待ください。

毎週火曜日
火曜特売

朝から食料品を中心にお買得品満載!!

毎日開催!!午後4時スタート!!

夕方特売 **4時の市**

夕方からはじまるお買得!!

アピタ新潟亀田店

新潟市江南区輪ノ子4-466 ☎(025)383-3211

[営業時間] 9:00 ▶ 21:00

毎月19日・20日は
UCSカード会員さま

UCSカードでのお支払いまたは
現金でのお支払いで

5% OFF
感謝デー

衣料品・食料品・暮らしの品が5%OFFとなります。(一部商品を除きます。)

感動

100年

ユニー
創業100周年

APITA

【弥彦浪漫】夏号

<http://p.booklog.jp/book/27970>

著者：弥彦観光協会

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/yahikokankou/profile>

発行所：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/27970>

ブックログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/27970>